

基礎研究の意義に関する検討項目（案）

- 基礎研究について多様な定義がある中で、本WGの対象をどうするか。
- 研究の出発点において、研究の区分けができるのか。

⇒ 特別な応用、用途を直接考慮することなく、新しい知を生み出す(discovery)研究
(OECD・科学技術研究調査に近い定義)
役に立つかどうかは結果論
(基礎研究の成果をイノベーションにつなげる方策が必要)

- 研究者の自由な発想に基づく基礎研究についても、ミッションを明確にする必要があるのではないか。

⇒ 新しい知を生み出す。
人類の財産である知的基盤に対する日本の貢献
一定レベル以上が要求される。

- 基礎研究の投資効果をどう捉えるか。

⇒ 日本の国際競争力、豊かな生活の土台
人類の知的財産創出に対する日本の責務 → 人類社会の発展
人材育成と表裏一体

- 基礎研究の多様性をどう考えるか。

⇒ 研究分野の多様性、新領域の創造
個人的基礎研究と基盤整備のための大量資金・人材投入型基礎研究